

10 侵入調査

(1) ミバエ類

①トラップ調査

ア 調査方法

令和5年3月から11月にかけて都内のナシ、ブドウおよびトマト生産地にスタイナー型トラップを常時設置し、原則として月1回各害虫の捕獲の有無を確認した。誘引剤はミカンコミバエ種群・ウリミバエ・クインスランドミバエにユーゲルアD8、チチュウカイミバエにメドフライコールを用いた。誘引剤は月に1回新しい物に交換した。

イ トラップ設置場所

| 地域 | 調査地点 |
|------|---------------|
| 多摩地域 | 東村山市、稲城市、八王子市 |

ウ 調査結果

調査期間中、いずれのトラップにおいてもミカンコミバエ種群、ウリミバエ、クインスランドミバエ、チチュウカイミバエは捕獲されなかった。

②硫黄島調査

ア 調査方法

令和5年12月21～22日にミカンコミバエ・ウリミバエ用トラップを7箇所、チチュウカイミバエ用トラップを3箇所設置し、令和6年1月25～26日に回収して各害虫の捕獲の有無を確認した。誘引剤はミカンコミバエ・ウリミバエにユーゲルアD8、チチュウカイミバエにメドフライコールを用いた。

イ 調査結果

調査期間中、いずれのトラップにおいてもミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは捕獲されなかった。

(2) トマトキバガ

① 調査方法

令和5年3月から令和6年3月にかけて都内のトマト生産地5地点において、トマト定植期から栽培終了1カ月後までジャクソン型トラップを常時設置し、原則として月2回捕獲の有無を確認した。性フェロモン剤は信越化学工業(株)製トマトキバガ用SEルアーを用いた。性フェロモン剤は月に1回新しい物に交換した。

② 調査場所

| 地域 | 調査地点 |
|------|-----------------------|
| 多摩地域 | 府中市、八王子市、町田市、瑞穂町、日の出町 |

③ 調査結果

調査期間中、いずれのトラップにおいてもトマトキバガは捕獲されなかった。

(3) ウメ輪紋ウイルス（プラムポックスウイルス）

① 調査方法

令和5年7月から8月に都内のウメ生産地4地点において、目視による感染樹の調査および無作為に選定した5樹についてイムノクロマト法による検定を実施した。

② 調査場所

| 地 域 | 調査地点 |
|------|--------------|
| 区 部 | 練馬区 |
| 多摩地域 | 小平市、立川市、東村山市 |

③ 調査結果

いずれの地域においても、感染を疑われる症状は確認されず、検体から本ウイルスは検出されなかった。

(3) トマトのウイルス4種（PepMV、ToBRFV、ToMMV、ToLCNDV）およびウイロイド4種（CLVd、PCFVd、TCDVd、TASVd）*

① 調査方法

令和5年3月から令和6年3月にかけて都内のトマト生産地5地点において、栽培期間中に原則として月1回の目視調査を行った。

② 調査場所

| 地 域 | 調査地点 |
|------|-----------------------|
| 多摩地域 | 府中市、八王子市、町田市、瑞穂町、日の出町 |

② 調査結果

いずれの地域においても、感染を疑われる症状は確認されなかった。

*PepMV : Pepino mosaic virus、ToBRFV : Tomato brown rugose fruit virus、ToMMV : Tomato mottle mosaic virus、ToLCNDV : Tomato leaf curl New Delhi virus、CLVd : Columnea latent viroid、PCFVd : Pepper chat fruit viroid、TCDVd : Tomato chlorotic dwarf viroid、TASVd : Tomato apical stunt viroid